

～学校事務インタビュー～

大島町立第二中学校 学校事務

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

都内は交通の便もよく、遊ぶところもたくさんあり、生活していくうえで困る部分はありません。ただ、自然を感じにくいことや人が多いと感じる時があり、心のどこかでのんびりとした場所で働きたい、時間を過ごしたいと思う部分がありました。

そんな時に、東京都の人事担当から電話があり、「島での勤務はどうですか？」と聞かれました。最初に電話をいただいたときは困惑したのですが、「これはいい機会だな」、「島なんてなかなか経験できないな」と思ったので、即答で「行きます！」と返事をしました。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

全校生徒合わせても内地の1クラス分ぐらいの生徒数であるため、最初は少ないと感じていました。ただ、先生方が生徒一人一人の性格や状況を理解し親身に接している姿や生徒が男女・学年の垣根を越えて楽しんでいる姿を見て、少人数ならではの教育活動が展開されており、内地よりも良い教育環境だなと感じています。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

内地の学校で勤務したことがないため分からないのですが、島の学校は地域とのつながりが強く、地域との距離が近いです。学校・家庭だけではなく、地域が加わり、学校・家庭・地域が一丸となって子供を育てていく環境が備わっており、そこが内地の学校との違いだと思います。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

同期や若手職員が多くいることです。大島へ配属が決まったときに、島に行く新卒は自分しかいないのではと思っていました。しかし、実際は10名の同期がいます。また、若手の先輩方も多くおり、公私ともに関わる機会が多く、さみしい思いをすることはありません。

5 島ならではのことがあれば教えてください。

先生方との距離の近さが島ならではのだと思います。

研修の際に内地の学校事務の方と話す機会がありました。先生方と話す機会は事務連絡以外ほとんどないと言っており、1人で仕事をする人が多いという意見を聞きました。島の学校の場合、先生方とプライベートで食事に行ったり、BBQ をしたりして先生と事務職員が関わる機会が多いです。島ならではのコミュニティーだからできることだと思います。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

食料品、生活必需品はすべて島内で購入できます。大島の場合、内地に比べ物価が2割ぐらい高いと感じています。しかし、品数は内地と変わらないです。家具や家電は島内で売っていないことが多いので、Amazon や通販を使っています。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

趣味がサイクリングなので、週末になるとサイクリングを楽しんでいます。農産物直売所に自転車で行き、ソフトクリームを食べることが何よりの楽しみです。

大島の自然を感じながら、自転車に乗っていると、ペダルがどんどん進んでいき、気づいたらここまで来ちゃった！ということも…（笑）。

天気が悪いことも多いので、そういうときは本を読んだり英語を勉強したりしています。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

生徒から先生と呼ばれることが印象に残っています。

私が中学生の時は、学校に事務の方はいたのですが、先生と呼んだ覚えはありません。そこまで関わることはなかったのが正直なところです。しかし、島の学校では教員と生徒の距離が近く、事務員も必然と生徒との距離が近くなります。

「昼休みスポーツしましょう」だったり「部活来てください」と言われたりすることがあり、生徒に先生のような感じで接してもらっています。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

ライフ・ワーク・バランスが取れていることです。

内地に比べ業務量も少なく、残業することはほとんどありません。また、職住近接であるため、通勤時間が車で 15 分程と短いです。仕事後に余暇時間が生まれ、趣味に打ち込んだり、勉強などをしてスキルアップしたりできる環境が整っていることが魅力だと思います。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

皆さん、ぜひ東京の島で働いてみませんか？東京都は島を持っている自治体であり、多くの都職員が働いています。

島での生活は内地で経験できないことを多く経験できます。また、生徒の成長を見届けるだけでなく、自分自身も成長できるのが島しょ勤務の魅力だと思います。

来年赴任してきた方々のなかで、この動画を見たと言ってくれる方と会えたらうれしいです！では、お待ちしております！